学習指導案の見方

本校の学習指導案は、「単元・題材について」と「本時の学習」の２ページで構成しています。

【単元・題材について】
学習指導要領に示されている内容や生徒の実態を基にしながら、実際に行う単元の計画や指導方針が立てられていることを**構造的に分かるように配置**しました。
【本時の学習】
授業の流れが一目で分かる板書計画や横並びになった展開と、**本時の内容が一枚の中に集約されるように配置**しました。

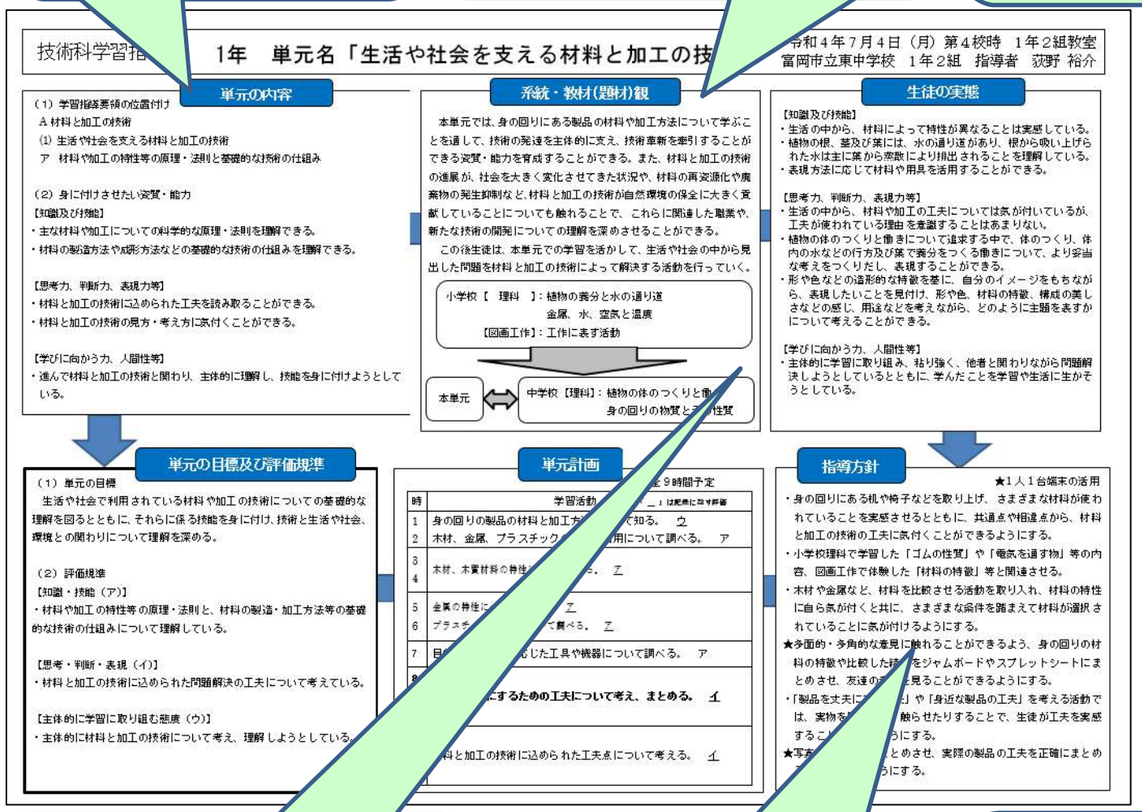
＜単元・題材の内容＞
授業をデザインする上で基板となる、身に付けさせたい資質・能力を明確にするために、学習指導要領の位置づけとともに、記述しています。

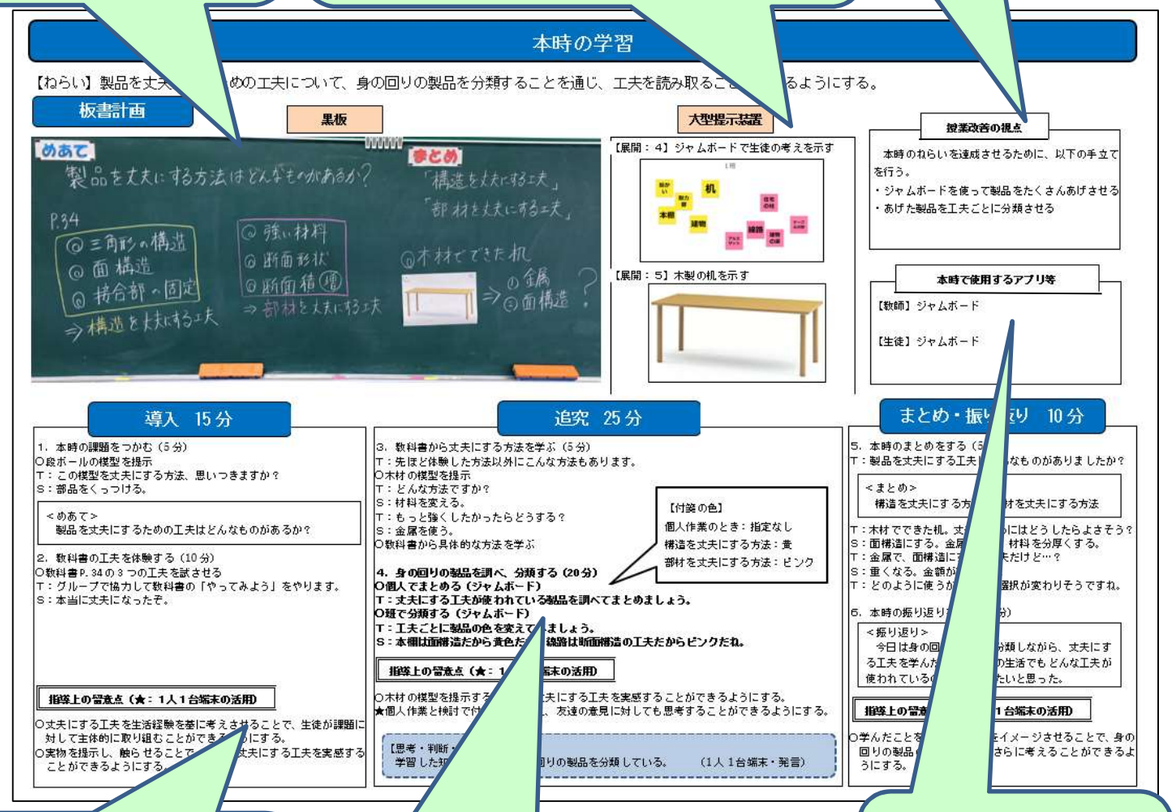
＜系統・教材（題材）観＞
教材（題材）のもつ価値や内容、選択した理由、教材の系統性等を記述するとともに、発達の段階や教材の特質等の観点に即して教材と生徒との関係を記述しています。

＜板書計画（黒板）＞
「めあて」と「まとめ」が問いと答えになるように工夫しています。
学習の流れ、生徒の思考の様子等が分かるように板書計画を作成しています。

＜板書計画（大型提示装置）＞
ICT の活用として、大型提示装置を授業で使用しています。生徒の考えを示したり、プレゼンテーションソフトで資料を提示したりしています。
本時の中心となる活動の画面を一部載せています。

＜授業改善の視点＞
めあて達成のために教師が行う手立てを簡潔に示しています。





＜生徒の実態＞
観点ごとの生徒の実態を示しています。系統を踏まえ、既習事項で身に付けてきた資質・能力について記述しています。

＜指導方針＞
生徒の実態と単元の目標をふまえて、指導方針を示しています。**一人一台端末を活用していることについては★で示しています。**

＜指導上の留意点＞
予想される生徒のつまずきに対応する個に応じた支援や、生徒の主体的な取組を促す支援等を記述しています。
また、**一人一台端末を活用している支援については★で示しています。**

＜校内研修との関わり＞
「思考力・判断力・表現力の育成」と「一人一台端末の有効活用」に関わる場面を太字ゴシックで表しています。

＜使用アプリ＞
一人一台端末の有効活用に伴って、本時で使用するアプリを記述しています。